

とてっぽ

学校教育目標

十勝野に立ち 不屈を目指す

たくましい人間 自ら学ぶ人間 心豊かな人間



学校 HP

帯広市立川西中学校

学校便り

第4号

令和7年6月5日

校長 村上達也

体育祭～汗が語る、心の成長～

校長 村上達也

初夏の陽ざしのもと、グラウンドから響いてくる子どもたちのかけ声、まっすぐに伸びる背中、風を切る足音、そして、仲間を見つめる眼差しに、一人ひとりの「現在」の成長を感じます。

体育祭は、一日限りの行事ではありません。準備や練習の日々は、まるで小さな「物語」です。最初はぎこちなかった動きが、何度もチャレンジすることで少しずつそろい始め、バラバラだった声も一つになっていく。楽しさや嬉しさだけでなく、悔しさや不安とも向き合いながら、誰かの励ましに救われ、誰かの努力に背中を押されて…。それらすべてが積み重なって、自分の限界や可能性を少しずつ押し広げていく…。私は、これこそが体育祭や学校行事の魅力であると思っています。



当日は少々曇り空のもととなりましたが、子どもたちが躍動し、会場一杯に歓声が響き合った体育祭となりました。保護者・地域の皆様には、ご多用のところにもかかわらず、温かな声援を送っていただき、心より感謝申し上げます。子どもたちの当日の姿はいかがだったでしょうか。全力で走る姿、仲間を懸命に応援する姿、そして静かに裏方（係活動）として支える姿、そのすべてに、子どもたち一人ひとりの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。

ゴールを駆け抜けた瞬間のまぶしい表情。

組団の仲間と肩を寄せ合って喜びを分かち合う姿。

全力を尽くしたあとの達成感や充実感。

勝敗だけでは語れない、たくさんの「物語」が、この体育祭の中にあったのではないのでしょうか。



この経験が子どもたちの心の中にしっかりと根を張り、それぞれの中に芽生えたらう自信と誇りがこれからの学校生活の力となるよう、今後も教育活動を進めて参ります。子どもたちの成長をともに見守り、生徒の健やかな成長をともに支えられるよう、今後とも温かなご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今年も熱い盛り上がりとなった PTA 種目

中学校の3年間は、自分の心と頭と体を精一杯使って、「本当の楽しさ」を知る大切な時間
R7年度 目指す姿：Well-being 帯広かわにし「自立・貢献」 重点目標：川西中らしい成長ストーリーの創造